

石巻ボランティア

平成23年3月に発生した東日本大震災から5年4か月が経過しました。被災地の完全復興は程遠く、故郷に帰ることができない方々もたくさんいらっしゃいます。震災発生当時から、西高生は「自分たちに何ができるか」を考え、平成24年3月に有志が津波の被害を受けた宮城県石巻市をはじめ訪問しました。以来、毎年定期的に石巻市の震災仮設住宅団地を訪問し、住民の方々と交流を深めてきました。昨年の嚶鳴祭では、体育館の一角に石巻ボランティアの足跡を展示し、来校されたお客様に見ていただきました。

7月24日(日)、25名の西高生と3名の教員が石巻市「仮設向陽団地」を訪問しました。

到着後、「NPO法人 国境なき奉仕団 チーム山形 東日本大震災復興支援団」の方々と合流し、いも煮づくりや振る舞いの手伝いを行うとともに、集会場の清掃や午後からの交流会の準備を行いました。

午後からは、集会場で住民の方々と交流会を行いました。昨年12月以来の再会です。たくさんの方々が参加してくださいました。アクリルの毛糸を使ったたわしや、広告紙を使った鍋敷きを一緒につくりましたが、住民の方々がとても手先が器用で、西高生が逆に教えてもらう、という微笑ましい場面もありました。最後は、Dreams Come Trueの「あなたに会いたくて」と、「花は咲く」を全員で歌いました。

今回参加した西高生は、「絆」の大切さを再認識し、これからも「今、自分たちに何ができるか」を真剣に考え、継続した活動をしていくことでしょ

